

有給・代休申請の効率化

「有給・代休管理」

- 複雑な係数管理：0.5単位での端数処理や、代休計算における「1.25」「1.35」といった条例固有の複雑な係数の適用は、手計算の限界を超えています。
- 二重作業の不条理：現場では、正確な計算のために一度Excelに入力して算出した結果を、わざわざ「紙の台帳」へ手書きで転記するという、デジタルからアナログへの逆行（二度手間）が常態化しています。
- 付随する手作業の連鎖：休暇管理以外にも、例えば出張時の旅費計算において「Web地図で距離を調べて手入力する」といった、外部データと公文書を繋ぐアナログな橋渡し作業が、時間を奪っています。

「Google Antigravity」による解決策の提示と自作アプリ開発の優位性

七戸町勝田さんの事例

- 現在、AIエージェント「Google Antigravity」で作成中
- 昨年度打刻のめんどくささに課題を感じ、アプリを作成。全庁に展開。約1年ほど。
- どの課にも共通する課題である、自分がプログラミングができる、自身がミニマムに試せるDX推進系の課にいる。

そこから出た知見

- 同じ規模の藤崎(200名)でもできるのでは
- 蓬田(60名)でもできそう
- むつ市(400名)でも上長をうまく巻き込めばできるかも